

図書館だより



2020年10月発行 No.5
伊丹市立笹原中学校
学校司書 草苺

『2020年・第74回読書週間』に併せて「読書の秋まつり」をおこないます。10月19日～10月30日の間に、合計10冊以上の貸出しがあった人に特製しおりをプレゼント、15冊以上の貸出でさらにマイ利用者カードをプレゼント。



読書の秋まつり

10月15日(木)～10月30日(金)

期間中10冊以上の貸出で、特製しおりをプレゼント！
15冊以上の貸出で、
さらにマイ利用者カードプレゼント！



笹原花子



「5分後に意外な結末」シリーズ

「5分後に恋の結末①友情と恋愛を両立させる3つのルール」～④ 桃戸ハル／著 [913モ]

YA層に圧倒的に支持されている大人気シリーズに、学園を舞台にした、「恋」と「友情」の物語が登場。女子は必読、男子も読みたくなる、青春小説。もちろん、ただの青春小説ではない。全26話、「意外な結末」と「スカッとするラスト」を保証！



「猫河原家のんびと 一家全員、名探偵」 青柳碧人／著 [913ア]

謎と事件好きの猫河原家。今夜も家族全員、殺人事件をめぐって、夕食前に迷推理を披露する。これも「推理せざる者、食うべからず」の家訓ゆえ。難事件に嬉々とする両親兄弟たち。普通の女子大生でいたい私はいつもブルー。正直、推理なんかしたくない。のに、遭遇した事件にピンときた瞬間、髪の毛は逆立ち、「名探偵」降臨。真相を見事突き止める一え？一番の推理好きは、私？



「さらにざんねない生きもの事典 おもしろい！進化のふしぎ」

今泉忠明／監修 [480イ]

生き物がさらに愛おしくなる地球には、すごい能力をもつ生き物がたくさんいます。でも一方で、「どうしてそうなった!？」と思わずつっこみたくなるざんねんな部分をもった生き物も存在するのです。シリーズもおかげさまで第5弾!! 野菜や果物、細菌を新たな仲間に加えて今回もたっぷり100以上の新しい「ざんねん」なお話を紹介します!



10月公開「小説の神様」 相沢沙呼／著 [913ア]

僕は小説の主人公になり得ない人間だ。学生で作家デビューしたものの、発表した作品は酷評され売り上げも振るわない…。物語を紡ぐ意味を見失った僕の前に現れた、同い年の人気作家・小余綾詩凧。二人で小説を合作するうち、僕は彼女の秘密に気がつく。彼女の言う「小説の神様」とは？そして合作の行方は？書くことでしか進めない、不器用な僕たちの先の見えない青春!



10月公開「罪の声」 塩田武士／著 [913シ]

京都でテラーを営む曾根俊也。自宅で見つけた古いカセットテープを再生すると、幼いころの自分の声。それは日本を震撼させた脅迫事件に使われた男児の声と、まったく同じものだった。一方、大日新聞の記者、阿久津英士も、この未解決事件を追い始め。圧倒的リアリティで衝撃の「真実」を捉えた傑作。



10月公開「朝が来る」 辻村深月／著 [913ツ]

「子どもを、返してほしいんです」親子三人で穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。電話口の女が口にした「片倉ひかり」は、だが、確かに息子の産みの母の名だった…。子を産めなかった者、子を手放さなければならなかった者、両者の葛藤と人生を丹念に描いた、感動長篇。



10月公開「星の子」 今村夏子／著 [913イ]

大切な人が信じていることを、わたしは理解できるだろうか。一緒に信じることができるだろうか…。病弱なちひろを救うため両親はあらゆる治療を試みる。やがて両親は「あやしい宗教」にのめり込んでいき…。



10月公開「八朝の雪 みをつくし料理帖」 高田郁／著 [913タ]

波乱万丈な生い立ちの主人公澁が、江戸時代には珍しい女料理人として、意地悪な(笑)大店や、さまざまな困難に立ち向かい、次々に新しい、ほっこりとした料理を創り出していきます。「食べたい!」と思った料理は「みをつくし献立帖」にてご家庭でも再現。恋あり涙あり勝負あり、でも料理あってこそ!の作品です。

参考書の決定版—学研ニューコース

「ニューコース 中1数学」ほか 教科・学年別 学研プラス

教科書内容をわかりやすく、くわしく解説した参考書の決定版。豊富な例題は丁寧な解き方と理解を助けるサイド解説で解法のポイントがズバリつかめる。授業の予・復習、定期テスト対策、入試準備まで幅広く活用可能。テストに役立つ公式・定理ミニブックつき。

